

NPO法人虹の会 よっちゃん家 井野川

10

団体紹介

「あったらいいな」「できたらいいな」を形に！



「NPO法人 虹色の会 よっちゃん家井野川」は、2021年9月に任意団体として活動を開始し、2023年10月にNPO法人として認可されました。スタッフの多くは看護師の皆さんで、高崎市大八木町の民家を開放し、地域の居場所づくり、フードパントリー、くるみカフェ（認知症カフェ）、ナースカフェなどの取り組みを行っています。地域の抱える課題を見据える中から、看護職の特長を生かし「あったらいいな」「できたらいいな」を形にしています。

インタビュー

NPO法人 虹の会 代表 池田 優子さん

“看護師がつくる誰もが安心して集える居場所”よっちゃん家

代表の池田優子さんは、現場の看護師や看護部長を経験後、大学で看護管理学・基礎看護学領域の教育に携わってきました。退職後、新たなステージへのチャレンジを模索するなか、コロナ禍で人と人とのつながりが薄れ、「孤立」という現状を何とかしたいという思いが強まり、空き家になっていた叔母（よっちゃん）の家を活用し、「よっちゃん家井野川」を立ち上げました。看護師の仲間たちとともに誰でも気軽に立ち寄れ、誰もが集える安全で心温まる居場所をつくる、それがよっちゃん家の目的です。

よっちゃん家の大きな特徴としては、地域の居場所づくりを“看護職”が担っている点です。医療職ならではの安心感と、看護現場で培った丁寧な接遇によるアットホームなおもてなしが、利用者の方々から好評を得ているそうです。

よっちゃん家の運営では、「地域を支える看護職の重要性」を強く感じるようになり、高崎健康福祉大学と群馬医療福祉大学の二校から、学生を実習生として受け入れる取り組みを進めており、地域と学校が連携して学びを深める機会を提供しています。



主な取り組み

“いつまでも健康で”気軽に相談できる場所に

よっちゃん家を拠点に、健康・介護相談はじめ、フレイル予防体操、手芸、健康麻雀など地域の居場所づくりを進めています。日常の小さな困りごとを気軽に相談される利用者も多く、誰もが安心できる地域の居場所となっています。病気になる前の予防、健康寿命をできる限り伸ばすことの大切さを強く感じており、“いつまでも健康で”をベースとして、気軽に訪れて誰かと話せる居場所を目指しています。

共同募金会（赤い羽根）の孤独・孤立対策事業の助成を受け、県内で「つながりワーカー」養成研修を展開しています。昨年度は7回、今年度は4回実施し、来年度は群馬県全域へ広げる予定です。また、今年度より大学で育てた認知症看護認定看護師を講師として、認知症サポーター研修を高齢者あんしんセンターと共催で5回開催してきました。

さらに、ドライブスルー方式で、2か月に1回、50人の家庭へ無料で食料品をお渡しするフードパントリーを継続しています。市内の寺尾中学校からも寄贈を受け、地域支援とともに子どもたちにとって目に見えるつながりと学びにもつながっています。



お問合せ等

心がほっとする「よっちゃん家」へようこそ！「NPO法人虹の会」情報

お伺いすると、代表の池田様をはじめ、スタッフの皆さんが笑顔で迎えてくださり、ホっとするようなアットホームな雰囲気です。思わず個人的な介護の悩みを聞いてもらいました。子どもから高齢者まで、あらゆる世代が交流し、誰もが安心して気軽に誰かとお話できる、そんなよっちゃん家を訪れてみてはいかがでしょうか。



NPO法人虹の会HP